

会議報告書

会議名	札幌市歯科口腔保健推進会議 摂食嚥下障害対策部会
日時	令和8年3月12日(木) 18時00分～20時00分
会場	札幌市保健所大会議室
出席者	出席者名簿（別添）のとおり
議事	概要
<p>1 「札幌市における高齢者歯科関係施策の現状と今後の摂食嚥下障害対策の方向性（案）について」の説明</p> <p>2 「東区医療介護ネットワークの概要とさっぽろ北部摂食嚥下ねっとの取組みについて」の説明</p> <p>3 「摂食嚥下障害患者に対する地域活動」の説明</p> <p>4 意見交換 1～3の説明を踏まえ、札幌市における今後の摂食嚥下障害対策の方向性（案）について</p>	<p>・事務局より、別紙資料1に基づき、「札幌市における高齢者歯科関係施策の現状と今後の摂食嚥下障害対策の方向性（案）について」の説明</p> <p>・委員より、別紙資料2に基づき、「東区医療介護ネットワークの概要とさっぽろ北部摂食嚥下ねっとの取組みについて」の説明</p> <p>・委員より、別紙資料3に基づき、「摂食嚥下障害患者に対する地域活動」の説明</p> <p>・札幌市における今後の摂食嚥下障害対策の方向性（案）について意見交換を実施 (委員) ・ケアマネジャーの現場では、身体機能の低下に対する対応が優先されるため、口腔・栄養の取組は後回しになりやすい。 ・主治医に栄養介入を提案しても「まだ必要ない」と断られるケースもあり、理解の浸透が課題である。</p> <p>(委員) ・主治医意見書にBMIや体重減少の記載が少ないのが現状である。 ・2024年診療報酬改定で嚥下調整食の加算ができることになったが要件が厳しく、積極的利用につながりにくいという課題があると認識。また、医療機関でどれだけ地域に出ることができる栄養士の確保できるかも課題である。</p> <p>(委員) ・評価やリハビリに対応できる歯科医師はまだ一握り。 ・まずは、一般の歯科医師が摂食嚥下障害への「気づき」を得て、対応可能な医療機関等へ繋げられる体制の構築が重要ではないかと考える。</p>

<p>5 今後の予定 ほか</p>	<p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・訪問歯科の現場で、摂食嚥下障害の兆候等に気づいても相談先に苦慮する状況があった。・摂食嚥下障害対策においては、歯科衛生士の役割も重要であるため、スキルアップの機会があるとありがたい。・現場での気づきを、摂食嚥下障害の対応へスムーズに繋げられる仕組みの構築に期待する。 <p>(委員)</p> <ul style="list-style-type: none">・札幌のような大都市では、どこにニーズがあるか戦略的な実態把握が必要となる・ケアマネージャーが活用できる標準的な項目を作り、「市が推奨する項目でリスクが出た」と言えるようになれば、医師への相談もしやすくなるのではないか。 <p>札幌市の今後の方向性（案）について、出席委員は概ね賛同する意向を示した。</p> <ul style="list-style-type: none">・事務局より、今後の予定について説明 <p>これまでの議論で、今後の方向性（案）についてに反対の声はなかったため、本日の意見交換で出されたご意見も考慮しながら、今後の方向性（案）に沿って、札幌市の摂食嚥下障害対策を積極的に進めてまいりたい。取組の実現に向けては、出席委員、各関係団体との連携が不可欠であるので、ご協力をお願いしたい。</p>
-----------------------	---